

平成25年度事業実績報告

I. 事業の概要

ゆめこうばにおいては、平成23年度に『就労継続支援B型事業』（以下「就労継続B型」という）へ移行し、これまで特に大きな問題なく運営を行っている。

II. 運営状況

1. 法人運営

(1) 債券購入について

日本の財政破綻に備え、法人の資産を守ることを目的に、平成22年度に実施したUSドルへの両替に続き、メキシコ通貨（ペソ）建てのアジア開発銀行の社債を購入した。（1,496万円）今後も日本の状況、世界情勢を見ながら資産保全の施策を検討していく。

(2) 定款変更について

昨年度、評議員会・理事会において承認された下記の内容で、所轄する岡山市へ定款変更を申請したが、「第10条の変更については『社会福祉法人定款準則』に準拠させる必要がある」との理由で却下された。再度、評議員会・理事会にて検討の結果、①と④また岡山市より指摘があった「第23条3項の誤字の訂正」についてのみ変更することとし、改めて岡山市へ変更申請したところ2月26日付にて認可。引き続き、法務局にて変更登記を実施している。

- ① 第1条（目的）ゆめこうばの新体系移行に伴い、実施しなくなった事業「第一種社会福祉事業 知的障害者通所授産施設ゆめこうばの設置経営」の文言を削除。
- ② 第5条（役員の数）4項に「理事のうち1名を副理事長とし、副理事長は理事会の同意を得て、理事長が委嘱する」旨の規定を追加。
- ③ 第10条（理事長の職務の代理）「理事長に事故あるとき又は欠けたとき」は、第5条4項で新たに規定した「副理事長が代理する」とし、「理事長と副理事長がともに事故あるとき又は欠けたとき」は、「法人が運営する施設の施設長もしくは事業所の管理者が職務を代理する」と変更。
- ④ 第31条（公告の方法）定款準則に沿って「官報」を追加。

(3) グループホームの検討

新事業として障害者グループホームの検討を開始した。検討を進める中で、高齢者も含め医療・介護面も踏まえた安全で安心な『住まい』を総合的に検討する必要があることが分かり、特別養護老人ホーム、シェアハウス等も検討に加えることとした。今後も継続して検討を進めていく。

2. ゆめこうば運営

これまで同様、「利用者が、地域社会の中で、自分らしく生き活きと主体的な社会生活を円滑に送れるよう、労働や日常生活を通して、一人ひとりの『自己実現』を最大限支援して行く」という基本方針の下、日々運営を行っている。

本年度は前年度からの継続利用者32名に特別支援学校新卒者4名を加え、総勢36名での事業開始となった。就労支援事業について、利用者が増えたことにより平均工賃の減少が予想されたため、開所1～2年目に就労支援事業（授産事業）の余剰金を積み立てた『設備等整備積立金』のうち約30万円を取り崩し、就労支援事業での修繕費に充当することで修繕費による工賃圧迫を抑えることとした。平均利用者工賃月額額は、前年度とほぼ同額の10,890円（前年度10,931円）となった。

(1) 利用者状況

特に大きな問題なく、また退所者もなく、来年度も全員継続して利用予定である。

□年間利用率：100.4% ※定員 35 名・利用通所日数：248 日ベース

□利用者個別の平均出席率：97.7% (前年度：96.4%)

【平均利用者負担月額】

サービス費負担額：0 円 + 食費負担分・送迎費：5,343.8 円 = 5,343.8 円

cf. 17 年度(支援費制度)：1,238.4 円, 18 年度：20,090.3 円, 19 年度：12,389.0 円,

21 年度：7,092.5 円, 22 年度：5,607.6 円, 24 年度：5,283.4 円

非課税世帯の利用者を対象に、現在実施されている食費補助（食事提供体制加算：427 円）については、来年度末をもって終了予定である。これにより昼食代が 230⇒657 円/食 (H26.4 月以降の価格)へ値上りし、利用者にとっては大幅な負担増となる。

(2) 年間行事実績

4 月：お花見遠足 (雨天のため中止), 5 月：健康診断・若葉祭り, 6 月：ボーリング大会,
7 月：社会科見学 (キリンビール工場見学), 8 月：避難/消火訓練, 9 月：スポーツ大会 (玉
野スポーツセンター), 10 月：交通安全教室・バーベキュー&小運動会, 11 月：インフルエンザ予
防接種・健康診断・もみじ祭り, 12 月：クリスマス会, 2 月：節分会・避難/消火訓練,
3 月：契約説明会

(3) 職員状況

福祉系大学新卒者 2 名を 4 月より正規職員として雇用。施設長以下正規職員 6 名、常勤パ
ート 2 名の常時 9 名で運営していたが、新卒者 1 名について、疾病による欠勤が続き、結局
1 月末付けで退職となった。補充として、3 月度より正規職員 1 名を中途採用している。

障害福祉サービスの質の向上を図る目的で、「福祉・介護職員処遇改善加算」を原資に実施
している職員処遇改善事業により、6 月賞与時に平均 31,800 円、期末手当として平均 112,360
円を支給した。

(4) 就労支援事業状況

① 作業種目別収支状況 (資金収支決算書ベース)

単位：千円 () 内は前年比

作業種目	収 入	支 出				差額
		製造原価	販管費	経費率 (前年)	工賃	
冷凍うどん	1,767 (98.4%)	1,499	247	98.8% (95.8%)	751	-730
パン	5,179 (92.7%)	3,295	295	69.3% (72.4%)	1,264	325
卵飴・トナ	1,192 (90.6%)	0	84	7.1% (6.1%)	341	766
喫 茶	264 (78.9%)	286	45	125.7% (111.9%)	155	-222
軽作業	2,459 (104.5%)	205	532	30.0% (37.3%)	2,193	-471
農作業等	36 (606.0%)	3	0	8.4% (41.2%)	0	33
計	10,896 (95.6%)	5,289	1,203	59.6% (62.3%)	4,704	-300

↳(a)

例年通り、冷凍うどんの製造・販売、手作りパンの製造・販売、卵飴・トナの粉詰め替え、マスキング・テープのポップ帳作製、自動車用ゴム部品のバリ取り、老人保健施設の清掃等の作業を実施している。一昨年に整備した農場については、農作業に長けた近隣の方のボランティア支援を受け、約 1 年掛けて土壌を作り、引き続き作物の栽培支援を受け、本年度より玉ねぎやジャガイモ、すいか等の販売を開始した。

また、岡山県セルフセンターの紹介により医療用デキストリンの計量・袋詰め作業を製麺工房にて開始した。製麺工房ではポテトチップ菓子の製造委託も実施しており、作業がうどん製造からこういった食品関係の受託作業へシフトしている。(売上は軽作業へ計上)

このような状況から、昨年と比較し、軽作業と農作業を除いて売上がダウン。約 500 千円

の減収および約 252 千円の減益となった。約 526 千円の利益と前述の設備等整備積立金取り崩し分の約 300 千円と併せ、期末手当として平均 22,950 円を利用者へ支給した。

※別紙「就労支援事業 売上推移」参照

□平均利用者工賃月額 ((a)÷432 人月) ⇒ 10,890 円

Cf. 県内の平均工賃月額状況	19 年度		24 年度	
	定員	工賃月額	定員	工賃月額
知的障害者通所授産施設	677	9,684		
就労継続支援 B 型	546	9,402	2,728	11,829
障害者施設全体	2,133	13,140	4,067	28,429
ゆめこつば	30	8,614	35	10,931

② 工賃向上対策

前年度より 3 ヶ年計画で「工賃向上計画」を作成し、目標工賃達成指導員を中心に工賃アップに取り組んでいるが、前年度同様、本年度も目標金額には及ばなかった。利用者・職員とも作業できる時間には限りがあり、これまで以上に利益を残すには、より利益率の高い作業を行わなければならない。そのためには軽作業で実施しているような受託作業が近道だが、取引先との兼ね合いもあり簡単には進まない。また、受託作業は景気動向に左右される面があるので、不況下でも作業を確保できる冷凍うどん・パンのような自主製造機能を保有しておくことも重要である。再度計画を見直し、更なる工賃引き上げに取り組んで行く。

(5) 監査指導・実地指導等について

本年度は、法人の指導監査および事業所の実地指導ともに無かった。

(6) 設備整備状況

就労支援事業用配送車の老朽化に伴い、そのリプレイスを目的に日本財団の福祉車両助成を申請。交付決定を受け、3 月に荷物の配送にも送迎にも使用できる日産キャラバン 1 台を整備した。(助成金額 1,360 千円・総費用 2,128 千円)

3. 財務状況 (法人全体)

① 経理区分間繰入金を除く資金収支決算書 (前年対比)

単位：千円

勘定科目		本年度	前年度	増減	前年比
施就労支援事業活動による	収入	10,896	11,360	-499	95.6%
	支出	11,196	11,360	-200	98.2%
福祉事業活動による	収入				
	訓練等給付費	65,285	61,291	3,994	106.5%
	特定費用(食費・送迎費等)	2,309	2,082	227	110.9%
	寄附金	445	508	-63	87.6%
	雑収入	1,374	1,390	-16	98.8%
	受取利息	49	8	41	652.4%
	計	69,462	65,279	4,183	106.4%
支出	人件費	33,880	34,468	-588	98.3%
	事務費	7,069	6,350	719	111.3%
	事業費	6,168	5,404	764	114.1%
	支払利息	602	725	-123	83.1%
	計	47,719	46,946	773	101.6%
	収支差額	21,743	18,333	3,409	118.6%
施設整備等による	収入	1,360	90	1,270	1,511.1%
	支出	2,022	940	1,082	215.1%
財務活動による	収入	363	290	73	125.2%
	支出	21,751	6,728	15,023	323.3%
	当期資金収支差額合計	-606	11,046	-11,652	----

- ② 借入金元金＋利息で 7,012 千円を償還。岡山県福祉事業団からの借入金については本年度で完済した。来年度は 3,910 千円を償還予定。

□借入金残高：34,300 千円・・・福祉医療機構（平成 35 年度まで）

III. 理事会および評議員会 () 内は参加者数

(1) 理事会

- ① 平成 25 年 5 月 28 日（理事：7 名、監事：2 名）
議題：平成 24 年度決算報告、債券の購入について
- ② 平成 25 年 10 月 1 日（理事：5 名、監事：2 名）
議題：定款の変更、任期満了に伴う評議員の改選、改選に伴う理事長の選任、理事長の職務代理者順指名、平成 25 年度補正予算、土地の購入について
- ③ 平成 26 年 3 月 20 日（理事：7 名、監事：0 名）
議題：平成 25 年度 2 次補正予算、平成 26 年度事業計画及び当初予算、就業規則の変更、ゆめこうば運営規程の変更、第三者委員の選任、契約時の職務代理者について

(2) 評議員会

- ① 平成 25 年 5 月 28 日（評議員：9 名、監事：2 名）
議題：平成 24 年度決算報告、債券の購入について
- ② 平成 25 年 10 月 1 日（評議員：11 名）
議題：定款の変更、任期満了に伴う役員の改選、平成 25 年度補正予算、土地の購入について
- ③ 平成 26 年 3 月 20 日（評議員：11 名）
議題：平成 25 年度 2 次補正予算、平成 26 年度事業計画及び当初予算、就業規則の変更、ゆめこうば運営規程の変更、第三者委員の選任、契約時の職務代理者について

以 上

《就労支援事業 売上推移》

	(千円)						
	パン	冷凍うどん	リサイクルトナー	喫茶	軽作業	その他	合計
平成16年度	5,606	2,749		1,364	359		10,078
17年度	5,775	2,625	385	866	1,007		10,658
18年度	5,643	3,002	303	748	1,102		10,798
19年度	5,373	3,072	418	692	1,155		10,710
20年度	5,897	2,901	681	765	1,044	708	11,996
21年度	6,180	2,671	671	695	996	28	11,241
22年度	6,008	1,821	863	603	1,902	14	11,211
23年度	5,715	1,845	1,263	425	1,775	1	11,024
24年度	5,590	1,796	1,316	334	2,354	6	11,396
25年度	5,179	1,767	1,192	264	2,459	36	10,897

